

千代田界隈のレトロな風景



ここから名人生まれるか？

(児童クラブ・いちばん星にて)

師範は「ひふみん」ではなく、ボランティアの菅原さん。

「△△学園」「××学園」騒動で問題となっているのが「記録文書」。
それがあるとかないとかいうこと。どんな業務でも「記録」は必ず
行われることで、介護の仕事でも様々な記録が作成され大事に保管
されている。例えばホームヘルパーの訪問先での活動記録や担当者
間で行われる検討会の記録は五年間の保管義務がある。要求があれ
ば情報を開示する義務が課せられている。
介護の現場の末端でもこのように法令遵守に努めているのだから
国の中枢ではさらに厳格に成されていなければならないと思う。と
ころがこの間の騒動の与野党のやりとりを見ていると重要な記録文
書を「怪文書」として無視しようとした官房長官。「私はやってい
ない」と言い続ける首相。「存在しない」とがんばる官僚。南スー
ダンの自衛隊の日誌が「廃棄されました」といった防衛大臣もいま
した。さらには文書を公開しようとしている職員を見つつけ出し処罰
すると言いつつ出た閣僚も登場。
これらの発言はどれも法令違反に値するものではないのでしょうか。
かつてアドルフ・ヒトラーをはじめとする独裁者たちが国民を意
識改造するためにとった方法は「何かを繰り返し返せばそれが脳細胞に
刷り込まれる。反復が催眠の方法であり、嘘を繰り返し返せば真実にな
る。」と言われています。日本の世論はまだそこまでいいっていない
のか、直近のメディアの調査では内閣支持率が急落したとか。
通常国会は終わり、政権は挽回を図るのでしょうか、政治の信用は
簡単には取り戻せない。

第二回目的の「千代田の映画会」を開催します。
「人生フルーツ」。
昨年から話題を呼び全国で公開されているドキュメンタリーです。
主人公は名古屋で暮らす津端修一さんと栄子さんご夫婦。
風が吹いて葉が落ちる。いい土になって果実が実る。
ときをためて、ゆっくりと生きていく暮らし。
そこから見えてくるものは・・・。
同じ暮らしは出来ないけれど、日常の中の出来事の見方や
考え方へのメッセージが、さわやかに伝わってきます。



みどりの風

2017.7.1

-NO.226-

人・ひと日記

小林 功

発行 社会福祉法人悠朋会

相模原市中央区千代田2-4-1

千代田デイサービスセンター1

042-751-0672

ヘルパーステーション千代田

042-704-0261

千代田介護支援センター1

042-704-0281

千代田相談支援センター

042-707-1434

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

余暇活動： 野菜の収穫&ぬかづけ



余暇活動の1つとして4階の畑を利用し、園芸を行っています。畑ではカボチャ、ミニトマトなど色々な野菜を育てています。今月はきゅうりとカブを収穫しました。収穫した物は厨房で浅漬けにしてもらい、昼食に出してもらいました。また、余暇活動の時間を使って、ぬか漬けをして昔の話などをして、盛り上がりました。

6月の展示内容

阿部 凱宣 水彩画展



6月の展示はスペース游でも展示会をされていた阿部凱宣さんの水彩画の作品を展示しました。

市民交流スペースのご案内

7月の予定

調整中

7月の予定

体重測定	10日(月)～16日(日)
交流会	4日(火)、6日(木)
七夕	7日(金)
キーボード	9日(日)
書道	17日(月)、20日(木)
折り紙	20日(木)
シナプソロジー	17日(金)
民謡(竹の会)	25日(火)
誕生会	25日(火)～31日(月)





毎年恒例、相模原市内の事業所対抗ソフトボール大会が6月4日に開催されました。

相模原市内の中小企業が参加対象とあって、福祉関係のみならず建設関係、造園屋さん、塗装業など様々な職種の事業所が激突します。

去年はあいにくの雨天となり順延、千代田はあえなく出場辞退となってしまいました。

満を持して今年は職員の旦那さんや息子さんを結集して、過去最強のメンバーで挑みました。ご家族の皆さんも、お休みの日なのに快く参加していただき感謝です！

第1試合はというと、時間一杯まで攻防がもつれ込んだ好勝負。後攻の千代田が連続ヒットで波に乗り、なんと最終回7点を取って逆転勝ち！劇的勝利で2回戦進出を決めました。

昼からの2回戦は毎年優勝している朝日建設Aチームさん。結果はというと？軽くかわいがられてあえなく敗退、でも最後まで楽しむ事ができました。



来年は千代田のユニフォームを作るぞー！！と盛り上がり帰路につきました。

次の日から3日間、筋肉痛に苦しむ日々、、、やはり普段からの運動が大事ですね～。

参加した皆様、お体大丈夫でしたか？？？



デイにハヤブサがやって来た！



6月4日（日）、ハヤブサ科のチョウゲンボウの幼鳥がデイサービスの1階の花壇に迷いこんできました。水などを与えてみましたが、弱っていて、自分で飛び立つことが出来ませんでした。優しく保護をして七沢の自然環境保全センターに届けました。元気になって空に飛び立つことを願っています。

千代田 de 映画会

第二回上映作品

人生フルーツ *Life is Fruity*



(C) 東海テレビ放送

建築家、津端修一さん90歳。妻、英子さん87歳。

風が通り抜ける雑木林の中で「ときをためる」暮らしをする夫婦の物語。高度経済成長とともにこの国が見失ってしまったもの・・・

本当の豊かさへの深い思索の旅がはじまる、珠玉のドキュメンタリー。

ナレーション 樹木希林 上映時間 91分 製作 東海テレビ放送 公式HP life-is-fruity.com



人生、フルーツ。
こつこつ、ゆつくり。
果実が実る。
土が肥える。
土が肥えれば、
枯れ葉が落ちれば、
枯れ葉が落ちれば、
風が吹けば、
枯れ葉が落ちる。

上映日 2017年9月18日（月・祝） ①14:00～（開場13:30）

②18:00～（開場17:30）

会場 メイプルホール（千代田2-2-15 メイプルビルBF）

観覧料 500円

鑑賞ご希望の方は下記へ電話またはメールでお問い合わせ下さい。

TEL 042-704-0261（ヘルパーステーション千代田）

MAIL chiyodah@topaz.ocn.ne.jp

下代田介護支援センターの富田です。

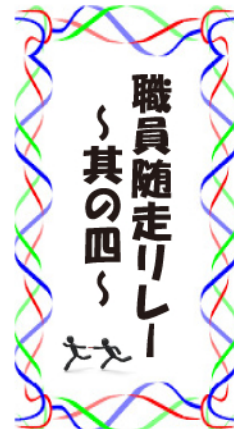
みどりの風 7月号ということで、もう夏ですね。

自分の好きなバンドの歌詞を紹介します。

1988年から、すでにこの歌詞が存在していたとは、素晴らしいと思います。

オリジナル歌詞： E. Cochran .& J. Capehart

替え歌詩： 忌野清志郎



大々



主任介護支援専門員
富田 俊介

暑い夏がそこまで来てる
みんなが海へくり出していく
人気のない所で泳いだら
原子力発電所が建っていた
さっぱりわかんねえ、なんのため？
狭い日本のサマータイム・ブルース

熱い炎が先ちょまで出てる
地元の奴らはあたまにきてる
だけでもまだまだ増えていく
さっぱりわかんねえ、なんのため？
狭い日本のサマータイム・ブルース

寒い冬がそこまで来てる
あんたもこのごろ抜け毛が多い
それでもTVは言っている
『日本の原発は安心です』
さっぱりわかんねえ、根拠がねえ
これが最後のサマータイム・ブルース

あくせく稼いで税金取られ
たまのバカンス田舎へ行けば
37個も建っている
原子力発電所がまだ増える
しらねえうちに漏れていた
あきれたもんだなサマータイム・ブルース

電力は余ってる、要らねえ
もう要らねえ

電力は余ってる、要らねえ
欲しくない

原子力は要らねえ、危ねえ
欲しくない

電力は余ってるってよ
要らねえ 危ねえ

安全は守れねえ

卑怯者にはまもれねえ

あいつらじゃ無理だよ

別に守ってほしくもねえ...



*アルバム 「カバーズ」

(1988. 8. 15 オリジナルLP発売発売予定→中止)収録

原子力発電所に頼らないよう、無理はせず、今年の夏ものりきりましょー！

賛否両論のある曲ですので、ご興味ある方は、you tubeでも視聴ができますのでどうぞ。